

総務・企画・公室常任委員会 県外行政調査

1 調査日 令和4年11月7日（月）～9日（水）

2 調査の概要

11月7日（月）

（1）沖縄県立芸術大学（沖縄県那覇市）

沖縄県立芸術大学は、昭和61年に開学し、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追求し、その成果を広く社会に還元するとともに、豊かな人間性と芸術的な創造力および応用力を備えた人材を育成し、もって芸術文化および地域社会の発展に資することを建学の理念としている。

一方、滋賀県立大学では「『キャンパスは琵琶湖。テキストは人間』」をモットーに、SDGsなども見据え、世界に通じる地域発のイノベーションを志向する」を中期目標の基本姿勢としており、両大学ともに地域の文化や環境等を大切にして地域に根差した大学運営を行っているという共通点もあることから、本県の公立大学運営の参考とするため、沖縄県立芸術大学の概要や運営状況等について調査を行った。



11月8日（火）

（2）沖縄工業高等専門学校（沖縄県名護市）

沖縄工業高等専門学校は、全国57校の高等専門学校の中で、再編により設立されたものを除けば最も新しい高等専門学校である。本科約800人、専攻科約50人の生徒が在学し、本科は「機械システム工学科」「情報通信システム工学科」「メディア情報工学科」「生物資源工学科」の4つの学科からなり、航空技術者プログラムや情報セキュリティ人材育成プログラム、ドローンや水中ロボットの開発、沖縄県産材からの健康食品や医薬品への開発等、独自の取組を実施している。

本県では令和9年度の開校を目指し、昨年度は高等専門学校設置構想骨子を策定、本年度は設備、教育内容、教員等について具体的な検討が行われることから、委員会での審議の参考とするため、高等専門学校に求められるもの、設置費用、実習設備・必要施設、運営状況等について調査を行った。



(3) 名護市防災研修センター（沖縄県名護市）

台風や集中豪雨による風水害の発生が多い沖縄県では、防災研修センターでの体験や講習等を通じて県民の防災意識向上や自主防災組織の結成の促進を図っている。

県の防災力向上のためには、県民や自主防災組織が、自助・共助で危機に対応できる力を高められるよう効果的な研修が重要であることから、本県の防災施策推進の参考とするため、取組内容や施設について調査を行った。



11月9日（水）

（４）沖縄県議会（沖縄県那覇市）

ICTの進展に伴い加速する情報化社会の中で、若者を中心とした新聞、テレビ離れが進み、高齢層においてもデジタル化が進むなど、人々の情報入手に関する行動は大きく変化している。こうした社会情勢の変化に対応するため、本県では昨年度「滋賀県広報戦略」を策定し、応答性を備えた県政を構築するとともに、滋賀の魅力の発信に取り組んでいる。

沖縄県においても、県政情報の迅速でわかりやすい発信によって県民の理解と信頼を深め、県民参加による開かれた県政の推進に資することを目的として「県政情報発信等戦略ガイドライン」を策定し広報政策に取り組んでいることから、本県の広報政策の参考とするため、沖縄県の広報政策について調査を行った。

